

平成20年度熊谷市決算のあらまし

歳入に表れた特徴 (平成19年度との比較)

地方税

年度後半の景気後退により法人市民税に若干の影響が見られたものの前半までは緩やかな回復期であったため、全体としては576,047千円(1.8%)の増となった。

地方特例交付金

「減収補てん特例交付金(住宅借入金等特別税額控除に伴う減収分)」と平成20年度限りの措置として「減収補てん臨時交付金(道路特定財源暫定税率失効期間中の減収分)」が交付されたことにより、全体で162,471千円(79.4%)の増となった。

国庫支出金

定額給付金給付事業費補助金などにより、全体で2,515,930千円(51.2%)の増となった。生活保護費、障害者自立支援給付費、保育所運営費などの民生費に係る負担金が52.3%を占める。

寄附金

平成20年度に「ふるさと熊谷の祭り応援基金」が創設され、寄附を受けたことなどにより、全体として11,921千円(219.8%)の増となった。

繰入金

公共施設建設基金繰入金(27,000千円)などが減となったものの財政調整基金(113,447千円)からの繰入れを行ったことなどの増により、全体で、95,122千円(44.4%)の増となった。

地方債

国営総合農地防災事業の完了に伴う借入が昨年度限りであったため、全体では1,305,200千円(33.1%)の減となった。
また、本年度末現在高は3,252,177千円の減となった。

歳出に表れた特徴 (平成19年度との比較)

総務費

市税還付金等(188,643千円)などが増となったものの、減債基金積立金(1,267,742千円)や人件費(449,100千円)の減などにより、全体で1,899,675千円(20.0%)の減となった。

民生費

障害者施設訓練等給付事業(869,663千円)や老人保健特別会計繰出金(857,338千円)などが減となったものの、障害者自立支援給付事業(1,197,168千円)や埼玉県後期高齢者医療広域連合負担事業(874,648千円)などの増により、全体では1,013,645千円(6.4%)の増となった。

衛生費

あっぱれ・天晴・熊谷駅広場冷却ミスト事業(49,008千円)や母子保健事業(43,388千円)などの増により、全体で156,657千円(3.2%)の増となった。

土木費

下水道特別会計繰出金(210,957千円)、江南総合公園整備事業(145,667千円)の減などにより、全体として213,564千円(2.9%)の減となった。

教育費

江南北小学校及び奈良中学校の屋内運動場建築事業の完了に伴う減(495,254千円)、人件費(264,048千円)の減などにより、全体で458,283千円(7.3%)の減となった。